

4 天狗になった上人

動詞① 四段活用

50

1! 本文

或る山寺に、徳たかく聞こゆる聖ありけり。年比、堂を建て、仏つくり、さまざま功德をいとなみ、尊く行ひけるが、終りめでたくてあ

りければ、弟子もあたりの人も、疑ひなき往生人と信じて、過ぎける

程に、或る人に彼の聖の霊つきて、心得ぬさまの事ども云ふ。聞けば、

はや天狗になりたりけり。弟子ども、思ひの外なるこちして、いみじく口惜しく思へども、力無くおぼつかなき事など問ひければ、不

思議の事ども云ふ中に、我が在世の間、ふかく名聞に住して、なき徳

を称して人をたぶろかして作りし仏なれば、かかる身となりて後は、

此の寺を人の拝み尊ぶ日に、我が苦思まさるなりとこそ云ひけれ。

@ポイント! 3

空欄に本文中の語句を入れよ。(2点×5)

ある山寺に評判の [1] がいた。長年、さまざま [2] を積んでおり、往生人と信じられていたが、ある人にその聖の霊がついた。なんと [3] になっていた。尋ねたところ、生きていた間、名譽や名声にこだわって、ない [4] をあるように見せかけて人々をだまして作った仏像なので、人々がこの寺を拝み尊ぶと [5] が増すのだと言った。

4	1	
5	2	3

4! 設問

① 文法 —— 線部1~3の動詞の活用の行・種類と基本形、ここでの活用形を答えよ。(3点×3)

1	行	活用	形
2	行	活用	形
3	行	活用	形

② 語彙 —— 線部Aは「終」と言い換えることができる。空欄に適切な漢字一字を入れて答えよ。(2点)

終

③ 会話 —— 線部B「彼の聖の霊」が、話している部分が一箇所ある。その部分を探し出し、最初と最後の五字を抜き出して答えよ。(4点)

④ 読解 —— 線部Cの理由を説明した次の文の空欄を、本文中の語句で埋めよ。(4点)

_____ を挙げたはずの _____ が、_____ に _____ なっていたから。

⑤ 内容 —— 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次から選び、記号で答えよ。(5点)

- ア 聖は、人々や弟子が自分を拝むと、往生して極楽浄土にいと説いていた。
- イ 聖は、人々と弟子に天狗にされたことを恨み、仏像を作り自分の苦しみを訴えた。
- ウ 聖は、徳がないのにあるふりをして人々を欺き、天狗になっていた。
- エ 聖は、名譽や名声のためにお堂を建てたことを、人々や弟子に暴かれそうになった。

2! ことば

重要語彙

(2点×3)

Q1~線部①~③の本文中の意味を選び、記号を○で囲め。

- ① めでたし
 - ア 立派だ
 - イ 祝うべきだ
 - ウ 美しい
 - エ めったにない
- ② 口惜し
 - ア つまらない
 - イ 情けない
 - ウ 残念だ
 - エ もの足りない
- ③ おぼつかなし
 - ア はっきりしない
 - イ がっかりした
 - ウ 仰々しい
 - エ みすばらしい

文法チェック

(2点×3)

■ 四段 ■ 五十音図の四段にわたって活用
 未然形 連用形 終止形 連体形 已然形 命令形
 [活用] 用言と助動詞の形が変化すること
 ・未然形 未だ然らず(まだそうならない)
 ・連用形 用言に連なる
 ・終止形 終止する
 ・連体形 体言に連なる
 ・已然形 已に然り(すでにそうになっている)
 ・命令形 命令する
 Q1~線部X~Zの活用の行・基本形を答えよ。

Z	Y	X
行	行	行

5! Let's チャレンジ

次の傍線部の動詞の活用の行と基本形を答えよ。(1点×4)

- ① 魚は水に飽かず、(方丈記)
- ② 浦戸を指して漕ぎ出づ。(土佐)
- ③ 勝たんと打つべからず。(徒然)
- ④ しづ心なく花の散るらむ古今集

行	行	行	行
---	---	---	---